

進路探究チェックシート

～3年生になる前にはじめておくべきこと～

■ 大学

出願方法
(ネット出願等)・必要書類(志望理書等)について調べておく

■ 一般入試型

国公立大・上位私大を妥協することなく目指す

基礎の完成(“わからない”をなくさなければ何も積み上げられない！)

“相手(=志望校)の力”を見極めるため、過去問(赤本など)に目を通した上で新しいものには手を出さず、まず手持ちの教科書・問題集を何度もやりこむ！

■ 総合・学校推薦型
第一志望に上記の方式がある(定員が少ないため、一般入試までを見据えた学習計画が必要)。

■ 基礎学力重視型

過去問(赤本には未掲載、多くは大学のHPや入試ガイド等に掲載)を手に入れ、問題の傾向を知った上で学習する。

■ 小論文重視型

「勉強したくないから」は大間違い

何よりもまず過去問を調べて「本当に自分にできるのか」を確認する(進路指導室で志望校の過去問をコピーしておく)。詳細については教室掲示の「小論文個別指導について今から考えよう」を参照して、しっかりとした覚悟と計画性を持って臨むこと。

■ 専門学校

出願条件(OPCの参加・エントリーシート提出)・出願時期について調べておく

■ 看護系

学校によっては学力・倍率が難関大レベル！

学校・入試方式(推薦・一般)によって試験内容や出題傾向が大きく異なる場合があり、早い段階から内容・過去問を調べておくことが重要(学校によってはかなり独特なものもある)。専門学校による高校生向けの講座・模試などの利用も検討すべき。

■ 看護系以外

学校によって差がある
安易な選択は危険！

入試方式(AO・推薦等)によって入学金・授業料などの減免措置がある場合が多い。特に指定校推薦ではそれに該当するケースが多く、専門学校だから勉強は関係ないなどと安易に考えず、高い学力(=成績)がより優位な進路実現につながる。

■ 就職

■ 公務員系

一般的に進学よりも日程が早い(例：7月出願・9月試験)ため、早期の準備が不可欠。また試験内容も学校のテストとは傾向が異なるため、公務員試験用の勉強が必要。専門学校による高校生向けの講座・模試などの利用も検討すべき。

■ 一般企業

給料の高低だけで決めがちであるが、勤続平均年数や福利厚生など見るべき部分は多岐にわたる。実際の求人票をしっかりと見て検討すべき(昨年度分は進路室にある)。